愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	世界史		
担当者(Instructors)	柳澤 幾美	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
<p>昨今の急速なグローバル化は、従来の時代・地域の枠を超えた包括的な世界史認識を持つことを強く求めている。このような状況をふまえ、本科目は、実質的な「グローバル化」につながるようになる「大航海時代」から現代に至るまでの、世界各地の歴史に関する一般的知識を通史的に学ぶことを一義的な目標とする。さらにそれらが関連することにより生み出された包括的な世界史の流れを深く理解することを到達目標とする。履修者には、受動的に知識を習得するのではなく、歴史を「他者化」することなく、学んだ知識をもとに現代のグローバル社会に生きる自分の姿勢につなげてほしい。</p>			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	<p>本科目では、主に大航海時代から世界がシステムのつながり、アメリカが独立し世界の覇権国となり、そして現代に至るまでの世界を通史的に講義する。学生の積極的な授業参加のため、質疑応答の時間も設ける。また、毎授業後には、リアクション・ペーパー（意見、感想、もしあれば質問）を課す。次の授業の前に、いいコメントについては紹介し、重要な質問については答える。また、授業前には、その週の世界のニュースについて紹介する予定である。</p>

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	イントロダクション	授業の概要、基本的な語句についての説明	☐
第2回	大航海時代（1）スペイン、ポルトガルの中南米への入植	色々な思惑が渦巻く大航海の主役たち、インカ帝国、アステカ帝国の滅亡、スペイン人、ポルトガル人による入植	☐
第3回	大航海時代（2）イギリスの北米への入植	台頭するイギリス、最初の入植地、ヴァージニアから13植民地へ	☐
第4回	ビデオ鑑賞：イギリス人入植者とアメリカ先住民の遭遇	映画『ポカホンタス』鑑賞	☐
第5回	ヨーロッパによる世界制覇の時代（1）国民国家の出現	イギリスの産業革命、フランス革命、ナポレオンの台頭、栄光と挫折、第1回「万国博覧会」など	☐
第6回	ヨーロッパによる世界制覇の時代（2）アメリカの独立	13植民地、独立革命、ゴールドラッシュ、南北戦争など	☐
第7回	ヨーロッパによる世界制覇の時代（3）ヨーロッパの広がり	イギリスの植民地の拡大、アヘン戦争、日本の開国、日清戦争、米西戦争、日露戦争など	☐
第8回	第一次世界大戦とヨーロッパ	第一次世界大戦の勃発、アメリカの参戦、ロシア革命など	☐
第9回	ビデオ鑑賞：1920年代のアメリカ	ジャズエイジ、享楽の時代、ペープ・ルースの人気など	☐
第10回	戦間期の世界	アメリカの大恐慌から世界恐慌へ、ヒットラーの台頭、日中戦争など	☐
第11回	第二次世界大戦	第二次世界大戦勃発、アメリカの参戦、戦後秩序構想など	☐
第12回	冷戦時代の世界	東と西の対立、覇権国としてのアメリカ、朝鮮戦争、ベトナム戦争など	☐
第13回	アメリカの人種差別廃止の成果と限界	公民権運動の展開、黒人暴動と戦闘的な運動、その他のマイノリティ、女性の運動、アフターマティブ・アクションなど	☐
第14回	グローバル化の進展と覇権国アメリカの衰退	グローバル・エコノミーの形成、情報技術革命、アメリカ同時多発テロなど	☐
第15回	まとめのディスカッション	質疑応答など	☐

■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)			

事前学習：各回の内容について、自分で参考図書を読んだり、インターネットで調べたりして、どのような時代かを把握しておく（2時間）
 事後学習：授業の内容をまとめ、わからないところを参考図書、インターネットで調べる。同時代の日本はどのような時代だったかを確認する（2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・毎回課するリアクション・ペーパーは、次の授業の最初にフィードバックし、コメントを紹介したり、質問に答えるなどします ・筆記試験については、解説とともに解答例を提示します

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代に至るまでの世界の歴史の概要を理解できる ・世界がいつ頃からどのようにつながったのかを知ることができる ・それぞれの社会がどのように関連しあってきたのかを理解できる ・現代の自分にそれぞれの歴史がどう関連しているのかを認識する

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
60%				40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回、授業後にリアクション・ペーパー（意見、感想、質問など）を課す

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし（プリントを使用します）	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『新 もういちど読む 山川世界史』（山川出版社、2017年）	978-4634640900
2	その他はその都度授業の中で紹介する	
3		
4		
5		